

# 英語での講義にどう備えたらよいか？

John Wojdylo 先生 (理学研究科特任准教授)

第1回 2016年3月 2日(水) 14:45-16:15

第2回 2016年3月 3日(木) 14:45-16:15

第3回 2016年3月 11日(金) 14:45-16:15

内容は各回とも同一です。

**講演概要** 英語による授業を担当されている先生方は、講義の準備をどのようにされているでしょうか？初めて担当する際には、どのような点に気をつければよいのでしょうか？

このセミナーでは、学生がより深く理解できる講義を英語で行うために、どのような準備を行えばよいのか、どのように授業を運営すればよいのかを、授業経験が豊富な先生から紹介していただきます。

セミナーは、少人数で意見交換する形式です。授業の準備や運営に関するさまざまな質問をする場としてもご活用ください。

**主な内容**

- ・ Wojdylo 先生による模擬講義
- ・ 講義準備の方法
- ・ 参加者との議論

**場 所** : ES 総合館 3階 035 講義室

**対 象** : 名古屋大学の教員・研究員・非常勤講師 (各回最大 15 名まで)  
(文系・理系等専門分野は問いません)

**使用言語** : 英語 (一部日本語)

**参加申込** : 参加希望の日にち、氏名、所属、英語による授業経験年数を電子メールにてお知らせください。

送信先 : [info@cshe.nagoya-u.ac.jp](mailto:info@cshe.nagoya-u.ac.jp)

**主 催** : 高等教育研究センター・国際教育交流本部

# 英語での講義にどう備えたらよいか？

John Wojdylo 先生 (理学研究科特任准教授)



John Wojdylo 先生は、物理学や数学の分野で 300 時間以上の講義経験と、2500 時間以上の学生指導や実験指導の経験を持つ教育経験豊富な先生です。2011 年には西オーストラリア大学でティーチング・アワードを受賞しています。また、ESOL (他言語話者英語教育) の資格も持ち、この分野で 600 時間以上の教育経験があります。2012 年には東京大学で英語教育に参画しました。文系・理系をまたぐ豊富な教育経験を有した先生です。

Wojdylo 先生は、インターナショナル・ヘラルド・トリビューンを含むオーストラリアや欧州の著名新聞紙でコラムニストや翻訳者を務めた経験も有し、博士課程在学中は出版物や物理学、化学、看護学、文学等の学位論文の校閲者として生計を立てていました。また、写真が趣味で 1991 年には 2 枚の写真が西オーストラリア写真家団体から表彰されています。